

生まれ変わる前橋工科大

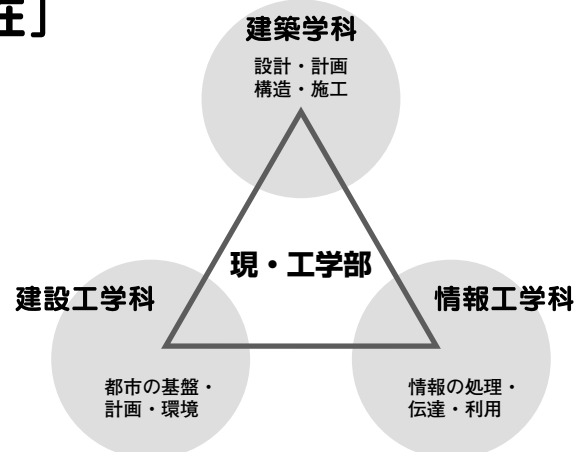
生命・健康を科学する新学科も

1月も半ばを過ぎ、もうすぐ本格的な受験シーズンを迎えます。大学をめぐる社会情勢が大きく変わる中で、未来に向けた魅力ある大学づくりを目指し、前橋工科大では今年4月に学科改編を行います。今回はその目的や改編内容のあらましについて、同大の大谷副学長さんらに話をお聞きしました（担当は市民編集委員・杉山、諸岡）。

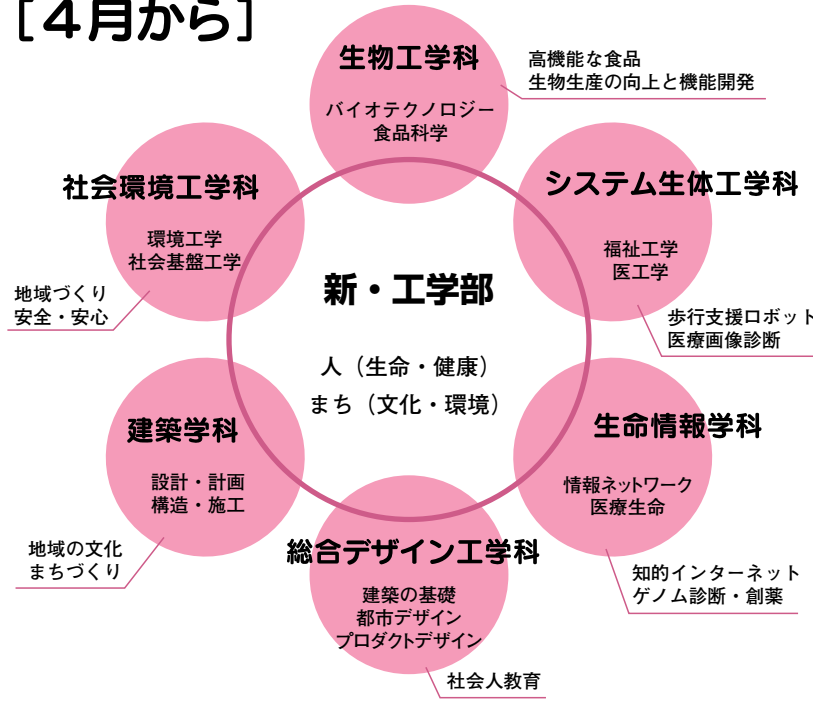
問い合わせは前橋工科大☎265-0111へ。

4月から1学部6学科へ再編

〔現在〕



〔4月から〕



大学間競争が激化する中で

社会情勢の変化に対応して

十八歳人口の急激な減少、法人化による大学間競争の激化、情報化の進展や社会ニーズの多様化など。近年、大学を取り巻くさまざまな社会情

勢やニーズが急速に変化しています。こうした中、右図のとおり、前橋工科大の学科改編が四月に行われます。昼夜間開講制



充実した環境の中で学生生活を

の三学科から昼間五学科、夜間一学科へ再編。生命・健康を科学する「生命情報学科」「システム生体工学科」「生物工学科」の三学科と、環境・文化を創造する「社会環境工学科」「建築学科」「総合デザイン学科」。

生命情報・医工学・バイオなど

新しい学問分野への進出も

□生命情報学科

現在ある情報工学科の教育・研究内容に加えて、ゲノム情報解析の技術を学ぶことができるようになった改編学科です。

情報処理技術を用いたゲノム診断・創薬、患者に優しい医療情報システムの構築を目指します。群馬大医学部と連携を強め、単位互換も進める予定。

就職先は情報通信メーカーや医薬品メーカー、病院などです。

□システム生体工学科

福祉工学や医工学を学ぶ新設学科です。

これらは医科学との融合を図る最先端分野で、歩行支援ロボットや電子制御車いすなど、福祉・医療用機器の開発に活躍できる人材の育成を目指します。この学科も群馬大

ン工学科」の三学科に大きく分けられます。

この中で、総合デザイン工学科だけが社会人対象の夜間開講制。実践的な技術を習得して専門資格の取得を目指します。

環境や文化を創造するため

環境や文化を創造するため

□社会環境工学科

安心・安全な地域づくりを目指して、現在の建設工学科を改編。環境に調和しながら災害に強い社会を構築することを目標に、環境工学、社会基盤工学を学びます。環境保全と人間活動の共生を図り、安全安心な地域づくりに貢献できる人材を育てます。

夜間コースは1学科に統合して

環境や文化を創造するため

街の文化・芸術の視点から、建築と都市のデザインやマネジメントを学ぶ学科です。専門分野は設計・計画系と構造・施工系に分けて少人数制で教

育。高齢者や自然環境へ配慮しながら、安全・安らぎ・潤いなど、文化的視点を持った新しい街づくりを推進できる人材を養成します。

□総合デザイン工学科

現在の三学科にあった夜間主コースを建築主体に統合。専門職業人の再教育を目的とした社会人対象の新設学科です。

建築の基盤的学問修得を基本にして、生活を豊かにする建築とデザインを創造する都市デザインやプロダクトデザインを学びます。